

OB・OGの皆さまへ ～40周年記念パーティーを迎えるにあたって～

第39代 幹事長 安井 仁
OB会担当 齋藤 慎太郎 (ビギナー・関東)

現役クラブへの平素からのご支援、心から感謝申し上げます。

今年度のオレンジの今までの主な活動のご報告をさせていただきます。

現役クラブは今年度47代を迎える新歓活動からスタートいたしました。今年の新歓ですが、最近のオレンジの入部人数の低下の中、率直にかなりの手応えを感じました。今年の新入生は非常に個性的で、オレンジらしさがあります。例えば、今、個人練習として朝6時から松戸で練習していますが、新入生の男女、経験者ビギナー問わず自分から練習に先輩を誘っています。学校でオレンジが休み時間に集まるラウンジも1年生であふれています。去年の新歓をやっているだけに今年の雰囲気の良いさに驚いています。

私たち39代は今年の新歓を成功させるためにまず新歓のピラを一新しました。例年の体裁を単に踏襲するのではなく、「オレンジの魅力、強みとは何か」を一から考え、ピラを読んだだけでもオレンジの魅力が伝わるようなものにしました。またSNS（ミクシィやツイッター）を使い個別に3000人以上とコンタクトをとりました。ここ数年、オレンジの新歓活動は逆境と言われているのですが、私たち自身、「変な噂とか言われているらしいし」などとそれを言い訳にしていた部分もありました。今年はその前提条件を直視し、対策を話し合い、ピラの中で、より説明を多くして組織がしっかりしているサークルであることを示しました。また、新入生が他からの情報に惑わされる前に、自分たちから「こういう噂があるけどオレンジとは関係ない」ということを積極的に発信しました。その結果、公開練習会等に、真面目にサークルを考えている新入生を多く呼ぶことに成功しました。公開コンパ等にもふだん冷やかしてくるような人もまったくくることなく、その代わりにオレンジに興味ある人たちを集めることができました。また今年は新2年生である40代にかなり協力してもらいました。合宿や団体戦もそうですが、新歓を通して40代の成長をほんとうに喜びました。後輩ができることで本当に顔つきが変わりました。良い新入生が多く入部したことも嬉しいことですが、40代の成長はそれに近い喜びでした。

2012年早大カップが5月末に無事終了いたしました。最終的な結果ですが、第6位という昨年よりも順位を一つ落とすこととなってしまいました。特に順位を落とすこととなった最終戦は7勝8敗という結果で、あと一勝を勝たすことができず幹部として詰めの甘さを痛感しました。しかし、1年生からは「感動した」と選手と共に団体戦後に泣いてくれ、また、幹部へ「オレンジに入ってよかったです。ありがとうございます」というメールをくれた者もあり、オレンジの団体戦の良さを伝えることができた実感しました。今年のカップは主に2・3年の2学年で挑むこととなり女子は1デフォスタートという非常に厳しい状況でした。今年も、去年成し得なかった上4(ベスト4)入りを目指して運営を詰め、練習を重ねました。その目標決めとなる2回戦対早大理工庭球部戦。多くの1年生が応援に来てくれましたが、結果5勝9敗1サスという結果で去年とほぼ同じ結果となってしまいました。理工に負けたことで去年より順位を上げることは不可能となり、維持の5位がその時点で出せる最高の結果となってしまいました。去年負けてから1年間、理工を倒すことを1番に考え練習してきただけに悔しさは計り知れませんでした。しかし、カップはすぐに次の試合が迫ります。この負けを引きずり次の試合で負ければ7位以下になってしまいます。短期間で気持ちを切り替え、反省を活かし次の3回戦早大稲友をきっちり倒し6位以上を確定させました。カップ最終戦対早大ファンタスティック戦、この試合で5位か6位かが決まります。結果は上に書いたとおり7勝8敗となり一つ順位を落とし6位となってしまいました。4位入りを目指していただけない、この結果は本当に悔やむべきものです。来年からは1～4年の4学年がいよいよ揃います。これは私たち39代も経験したことがありません。一つ下の代も私たちも絶対強いオレンジを取り戻す覚悟です。また今年オレンジに入った47代の1年生ですが、団体戦中のダッシュや球拾い、応援での声出しなどで同期同士お互いに叱咤激励していたり、団体戦後に選手とともに悔しがったりと、このカップでもオレンジらしさを見ることができ嬉しく思いました。彼らがより成長できるように幹部として全力を尽くしていきます。(カップ団体戦のことは、1試合1試合様々な気持ちがあり上手く文章にあらわすことができず、読みづらいかもしれませんが、申し訳ありません。)

現役クラブは前期が終わったところです。一つ下の2年生は幹部をやるかどうかの話し合いをしております。例年より一つ下の代は少ないですがその中で強く幹部をやる意思を持っている子は多く安心しているところです。僕らも自分の幹部生活に悔いを残さぬよう尽力していくと同時に彼らのバックアップにもつとめていきます。

現役には「お母さんの友達かオレンジ」であったり「お母さんの妹とその婚約者がオレンジ」であったりする子がおり、不思議な縁を感じています。(彼らは入部してからそれを知ったそうです)。ぜひ、私たち現役生に会いにこの秋の40周年記念パーティーにいらしてください。40周年記念パーティーでももしかしたらこのような不思議な縁がたくさん見つかるかもしれないと楽しみにしています。現役一同皆様にお会いできることを心待ちにしております。

(平成24年7月)